

令和6年度 学校安全優良校推薦資料

推薦者名称

名古屋市教育委員会教育長 坪田 知 広

【推薦理由】

相生小学校は、本年度50周年を迎えた学校である。学区の方々は、当校の卒業生も多く、学校教育や学校行事に協力的である。

学区は、天白区と緑区の境に位置している。団地やマンションが多く、集合住宅から通う児童が約60%を占める。地下鉄の駅がある幹線道路が学区の南端に通っており、交通量も少なくない。学校の西と南は相生山緑地に隣接し、坂道が主要な通学路となっているが、学区の方が、自主的に登下校の安全を見守ってくださっているため、大きな交通事故等はない。また、PTAの活動として地域理事が中心となり、登校の見守りも行っている。このように、学区やPTAと連携した取組が安心安全な学校や地域づくりを推進しており、優良校として推薦するものである。

ふりがな 学校(園)名	なごやしりつあいおしょうがっこう 名古屋市立相生小学校		
所在地	〒468-0035 名古屋市天白区境根町36番地		
ふりがな 校(園)長名	にむら きよこ 二村 小代子	電話番号	052-803-3501
メールアドレス	aioi-e@nagoya-c.ed.jp	ファックス番号	052-802-2128

1 学校(園)の概要(人数及び学級数は、令和6年5月1日現在)

教職員数	31人				
学級数	13学級				
幼児児童 生徒数	262人				
管理下の 重大事故	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	死亡事故	0件	0件	0件	0件
	障害事故	0件	0件	0件	0件
過去の 表彰受賞歴	令和3年度	名古屋市学校保健・安全活動優良校			
	令和4年度	名古屋市学校保健・安全活動優良校			
	令和5年度	名古屋市学校保健・安全活動優良校			

2 学校安全に関する特色ある取組や研究実践

(1) 研修・訓練の重視

① 児童対象避難訓練（年3回実施 4月・9月・1月）

防犯訓練（年1回実施 10月）

分団会（年4回実施 4月・7月・12月・3月）

交通安全教室（10月実施 全学年対象）

一斉下校（学期に1回程度実施）

着衣水泳（年1回実施 高学年対象）

② 教職員対象

安全点検（月1回実施）

アレルギー対応・エピペン講習（4月実施）

心肺蘇生法・AED講習（6月実施）

不審者対応訓練（防犯訓練と同時実施）

(2) 家庭・地域等との協働体制づくり

① 家庭との連携

P T Aによる見守り活動

学校保健安全委員会（2月実施）

水泳学習見守り活動（水泳学習期間）

② 地域との連携

「0の日」交通立哨（毎月0の日に実施）

見守り隊定例会（年2回実施）

感謝の会（2月実施）

3 学校安全に関する取組

(1) 安全教育について

資料1

① 生活安全

○ 安全月間(7月)

安全月間には、遊びのきまりの徹底や安全な廊下歩行を啓発している。令和6年度は、廊下でのけがを防止するために、児童会が中心となり児童会で「廊下を安全に歩く」ことを啓発する看板を作成した。

○ けがや病気の予防

雨天時の過ごし方や酷暑期の過ごし方、感染症流行期の過ごし方について学級や保健安全だより等で知らせることで、予防法や対処法を身に付けさせる。

○ 休業中の生活指導

「よい子のくらし」を配布し、問題行動や事故等の発生を未然に予防する。

② 交通安全

○ 交通安全教室

交通指導員に交通規則や自転車の正しい乗り方等の講話と講習を行ってもらい、交通安全に対する理解を深める。

令和5・6年度は、横断歩道を安全に渡る意識を高めることをねらい、大型バスや大型トラックによる死角や内輪差を体験する機会を設けている。

○ 交通安全指導

校長講話による交通安全指導を学期に1回と長期休業前に行っている。また、各学年で必要に応じて、「下校時は走らず歩くとよい」「横に広がらずに歩くとよい」ことを繰り返し指導している。

③ 災害安全

○ 避難訓練

地震発生時、火災発生時に、どのような行動をとったらよいかを考えさせるために年3回、避難訓練を実施している。実施後、振り返りを行い、学校安全マニュアルを見直すようにする。マニュアルを教室に配備し、いつでも見られるようにしてある。

○ 着衣水泳

高学年児童を対象に、衣服や靴を履いて水に浮く体験を行い、落水時の身の守り方について理解させる。

(2) 安全管理について

資料2

① 対人管理

○ アレルギー対応・エピペン講習会（4月実施）

養護教諭を中心に、食物アレルギー対応に関する事例検討を行い、知識を深めるとともに、エピペンの実技講習を行っている。

○ 心肺蘇生法・AED講習（6月実施）

養護教諭が中心となり、事故が発生した時の対応について学んでいる。

○ 防犯訓練（10月2日実施）

インターネットやSNSで被害に遭わないための教室を行い、児童が犯罪に巻き込まれないよう予防的な指導をする。

○ 分団会（年間4回実施）

安全に集団登校ができるように通学状況の振り返りを行っている。また、防災ノートを活用し登下校中に地震が発生した場合の適切な対処法を身に付けさせている。

② 物品管理

○ 職員による安全点検

月1回職員による安全点検を行っている。日常的な危険防止だけでなく、災害時の危険防止の視点で行うようにしている。特に、長期休業前後には、運動場に転びそうなへこみがないか、釘などの突起物がないかを点検している。また、学期の始まりに、児童の転落防止に向けて、窓の下に足場になるような物が置いていないかを点検している。もし、足場になるような状況にある場合は、その近くの窓に補助錠を設置するようにする。

○ 業者による安全点検

外部の業者による遊具の点検や、消防設備、電気設備の点検を行っている。

○ 緊急時使用品の保管管理

緊急時に使用する物品について、いつでも使えるよう定期点検を行い、近い場所に常備している。

(3) 家庭・地域等との連携について

① 家庭との連携

○ P T A見守り活動

児童が安全に登校できるようにするために、地域理事が登校時の見守りの分担を行っている。決められた期間内で、できる日に無理なく行えるようにしている。集合場所での見守りや学校までの付き添い等を積極的に行っている。おかげで、事件や事故に巻き込まれることなく登校することができている。

○ 学校保健安全委員会

学校で行っている安全管理（環境の安全点検、授業における配慮など）、安全指導（防災、防犯、交通安全、情報モラルなど）について報告し、学校医やP T Aから意見をもらっている。様々な視点で意見をいただくことで、安全な学校生活につながっている。

○ 水泳学習見守り活動

令和6年度より、水泳学習を安全に行うことができるように、P T Aに見守りのボランティアの募集を始めた。参加した保護者には、プールサイドでの児童の見守りや、室内で自習する見学者の見守りを依頼した。おかげで、安全に楽しく水泳学習を行うことができた。

② 地域等との連携

○ 「0の日」交通立哨

毎月、「0の日」に地域や天白警察署の方が久方交差点を中心に交通立哨を行っている。児童の登校がない休業中も行われている。

○ 下校時の見守り隊

平成21年度より、地域のボランティアが毎日、1年生の下校時に方面別に引率して、安全に下校できるよう見守ってくださっている。

年に2回程度定例会を実施し、活動内容や困っていることを共有している。話合いの内容は、児童への安全指導に生かすとともに、学校との連携を深めている。

○ 感謝の会

日頃、登下校を見守ってくださる方（交通指導員、見守り隊）をお招きして、児童会主催の「感謝の会」を行っている。児童は、日頃の登下校の様子を振り返りながら、感謝のメッセージを記入している。そのメッセージをまとめて、一人ずつ渡している。